

災害時におけるトイレの実態を考える

2026年

2月28日(土) 14:00-17:00

金沢市文化ホール 石川県金沢市高岡町15-1

※定員：100名

参加申込みがない方もご参加いただけますが、参加希望の方は事前の申込みをお願いいたします。

参加費
無料!
事前申込み制

開会あいさつ

第1部 14:00~14:45

「最新研究から考える下水道管路の可能性」

①東ティモール民主共和国の生活基盤評価

-藤生 慎 (金沢大学 教授)

②下水管路の劣化予測と技術者支援チャットボットの開発

-藤生 慎 (金沢大学 教授)

③令和6年能登半島地震とデータサイエンス研究

-森崎 裕磨 (金沢大学 助教)

休憩 14:45~15:00

第2部 15:00~17:00

「災害時におけるトイレの実態を考える」

○基調講演

能登半島地震のトイレ問題と教訓

加藤 篤 (NPO法人日本トイレ研究所代表理事)

○パネルディスカッション

コーディネーター 加藤 篤

パネリスト 斉藤 容子 (関西国際大学客員教授)

中山 和子 (輪島市健康福祉部子育て健康課長)

西川 直子 (せかまcafe代表・助産師)

アドバイザー 澤田 洋一 (金沢大学特任教授/管清工業株式会社 大阪支店)

閉会あいさつ



参加申し込みは
こちら